

第 2 回 日韓科學史세미나 豫告

때 : 1983. 5. 24 - 26

곳 : 日本 京都 京大會館

藪內清(京都大)

☐ 日韓 兩國에서의 中國科學技術의 受容과 獨自의 展開

全相運(誠信女大)

☐ 朝鮮時代に 있어서의 韓日 科學技術의 交流

海野一隆(大阪大)

☐ 朝鮮地圖學의 特色

朴星來(外國語大)

☐ 西歐科學과 韓國의 近代化

赤土屈昭(鹽野義製藥)

☐ 「醫心方」에 引用된 醫書

송상용(前 成均館大)

☐ 한국 현대과학의 기원

藤本幸夫(富山大)

☐ 日本現存 朝鮮本에 대하여 — 특히 科學技術書를 中心으로 —

金容雲(漢陽大)

☐ 朝鮮時代의 算學思想

下平和夫(前橋市立工業短期大)

☐ 中國數學의 受容에 대하여

俞景老(前 서울大)

☐ 朝鮮 初期의 天文學

小川晴久(東京大)

☐ 金錫文(1658 - 1735)의 宇宙論

宮島一彦(同志社大)

☐ 韓國 昌德宮 所藏 星座盤에 대하여

日韓科學史세미나 日本 實行委員會

委 員 長 藪內清(京都大)

副委員長 渡邊正雄(新瀉大), 吉田光邦(京都大)

委 員 海野一隆(大阪大), 山田慶一(京都大), 中山茂(東京大), 村上陽一郎(東京大),
下平和夫(前橋短大), 吉田忠(東北大)

事 務 局 宮下三郎(關西大), 坂出祥伸(關西大), 橋本敬造(關西大), 宮島一彦(同志社大)